

2019年2月期 第2四半期

決算説明資料

2018年10月12日

古野電気株式会社

注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

◆ 売上：増収

北米・欧州・アジア地域における船用事業の売上が伸長、通信・GNSSソリューション事業好調により増収。

◆ 利益：増益

売上増に加えて生産効率改善、製品構成の変化、為替影響等により売上総利益率が向上。

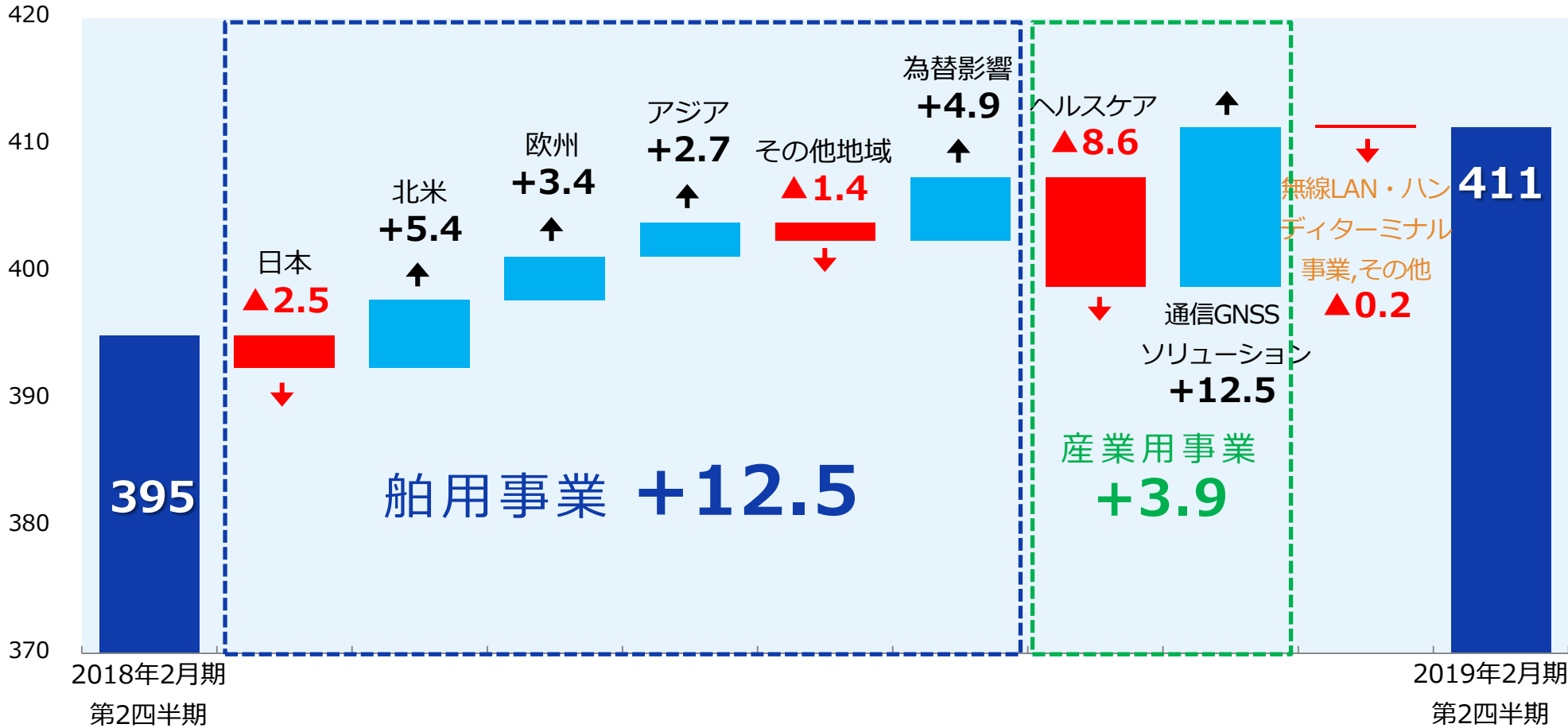
◆ 業績予想：上方修正

上記の動向を踏まえ、今年7月12日に公表した2019年2月期通期連結業績予想を上方修正。

(単位：百万円)	2018年2月期 第2四半期	2019年2月期 第2四半期	増減比 (額)	増減比 (率)
売上高	39,544	41,152	+1,607	+4.1%
売上総利益 (対売上高比率)	14,430 (36.5%)	16,893 (41.1%)	+2,462 (+4.6)	+17.1%
営業利益 (対売上高比率)	1,700 (4.3%)	3,663 (8.9%)	+1,962 (+5.6)	+115.4%
経常利益 (対売上高比率)	1,498 (3.8%)	3,853 (9.7%)	+2,355 (+5.6)	+157.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (対売上高比率)	1,360 (3.4%)	3,283 (8.0%)	+1,922 (+4.6)	+141.3%
研究開発費 (対売上高比率)	2,088 (5.3%)	2,305 (5.6%)	+218 (+0.3)	+10.4%
設備投資額 (対売上高比率)	1,579 (4.0%)	1,215 (3.0%)	▲364 (▲1.0)	▲23.1%
減価償却費 (対売上高比率)	1,552 (3.9%)	1,513 (3.7%)	▲39 (▲0.2)	▲2.5%
(単位：円、期中平均レート)				
為替 (対ドル)	113	109	▲3	▲3.0%
為替 (対ユーロ)	122	131	+9	+7.4%

売上高の増減分析

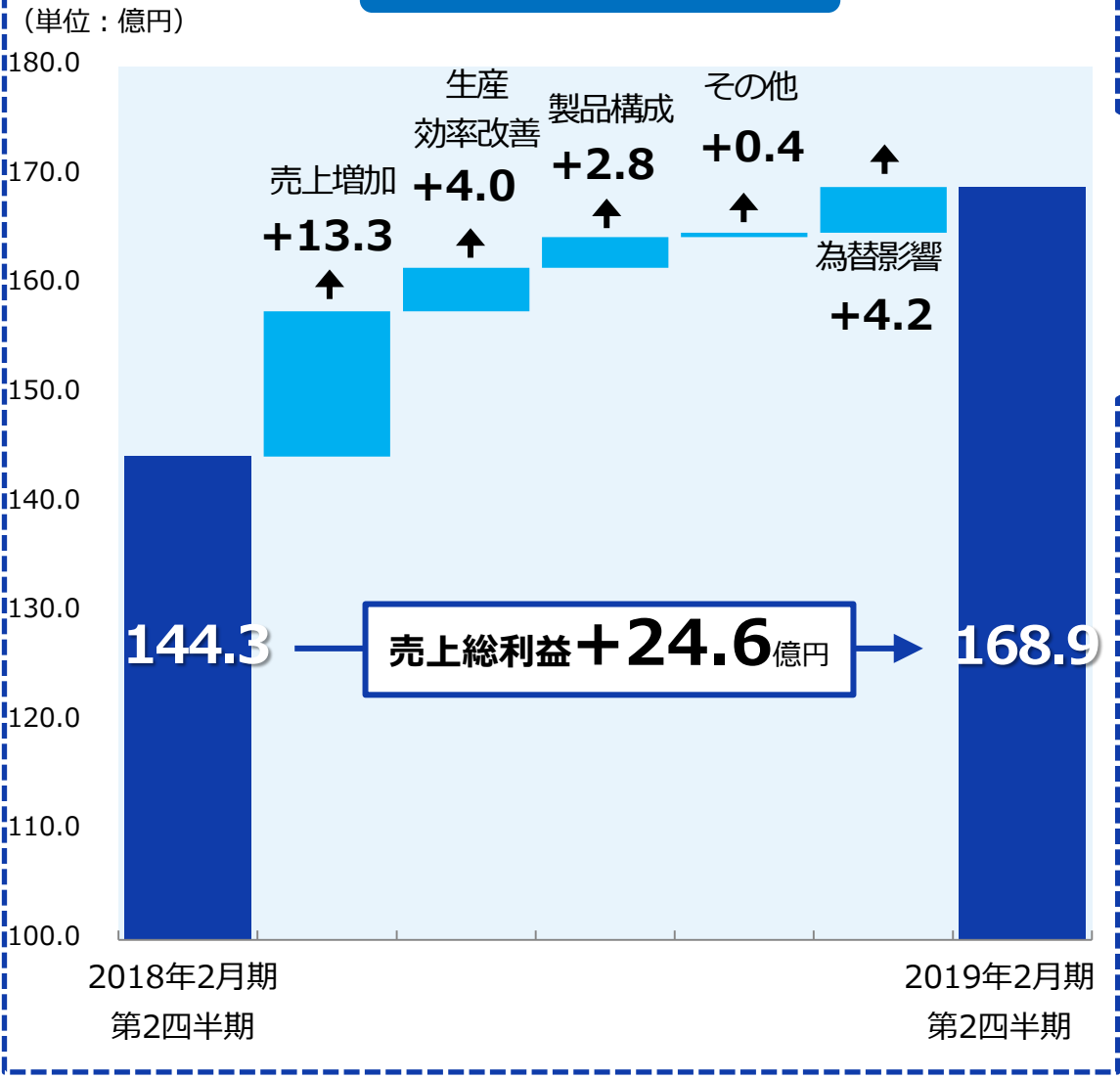
(単位：億円)



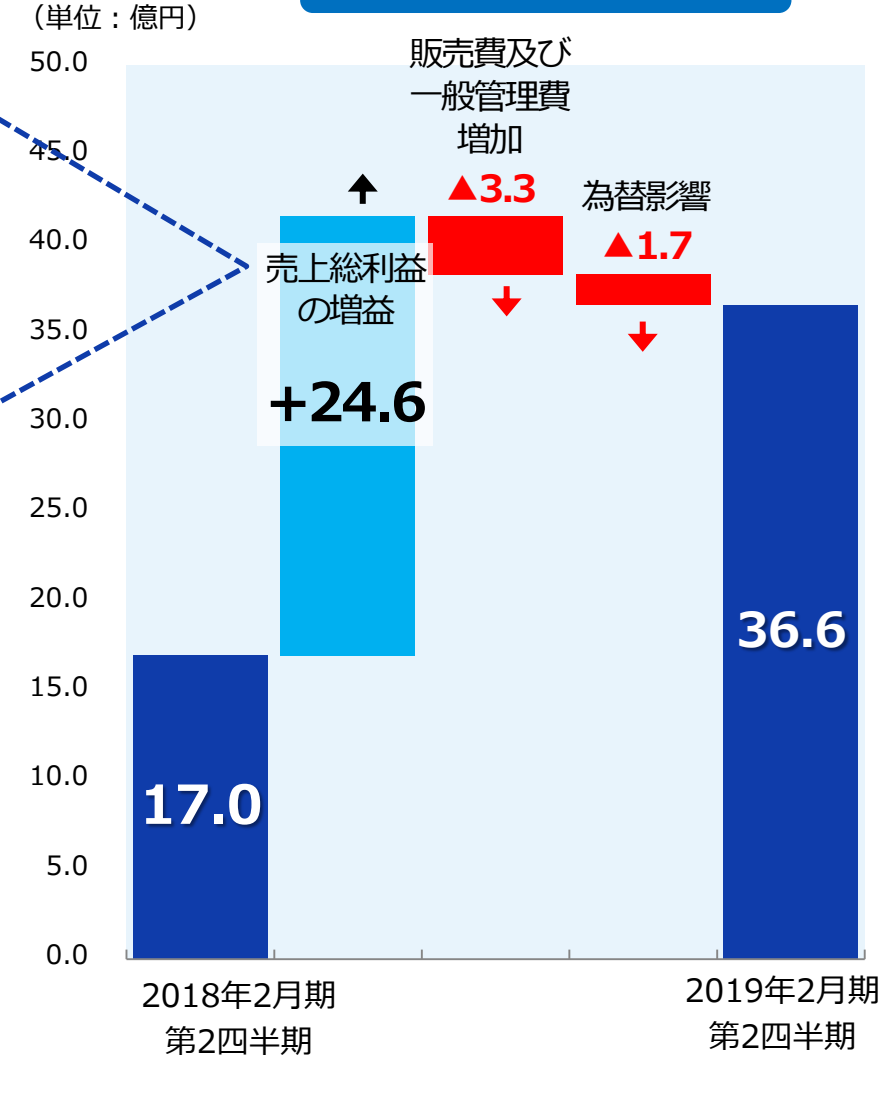
- 日本・その他地域を除く全地域で船用事業が増収
- 為替がプラス方向に影響
- 通信・GNSSソリューション事業が好調

※ 為替感応度 (2018年2月期実績値)
 【ドル】売上高1.1億円、営業利益0.5億円
 【ユーロ】売上高1.4億円、営業利益0.7億円

売上総利益の増減分析

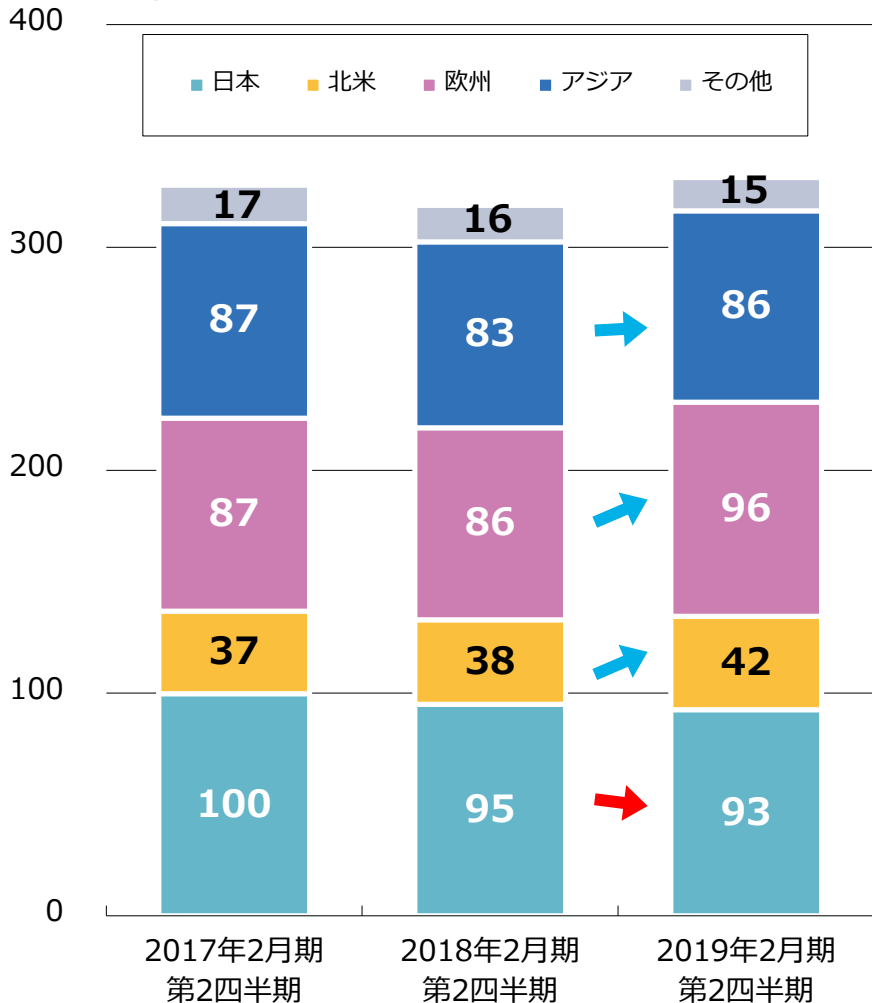


営業利益の増減分析



船用事業・連結売上高 (累計・地域別)

(単位：億円)



船用事業：

売上高 **331**億円 (前年同期比 **+3.9%**)

セグメント利益 **28.3**億円 (**+18.2**億円)

⇒ **北米・欧州・アジア地域で増収。**

**売上増に加えて生産効率改善や
為替影響等により大幅増益。**

◆日本：売上高 **93**億円 (▲**2.7%**)

➢ 漁業向け減収

◆北米：売上高 **42**億円 (**+10.8%**)

➢ 小型商品増収、漁業向け増収に転じる

◆欧州：売上高 **96**億円 (**+11.4%**)

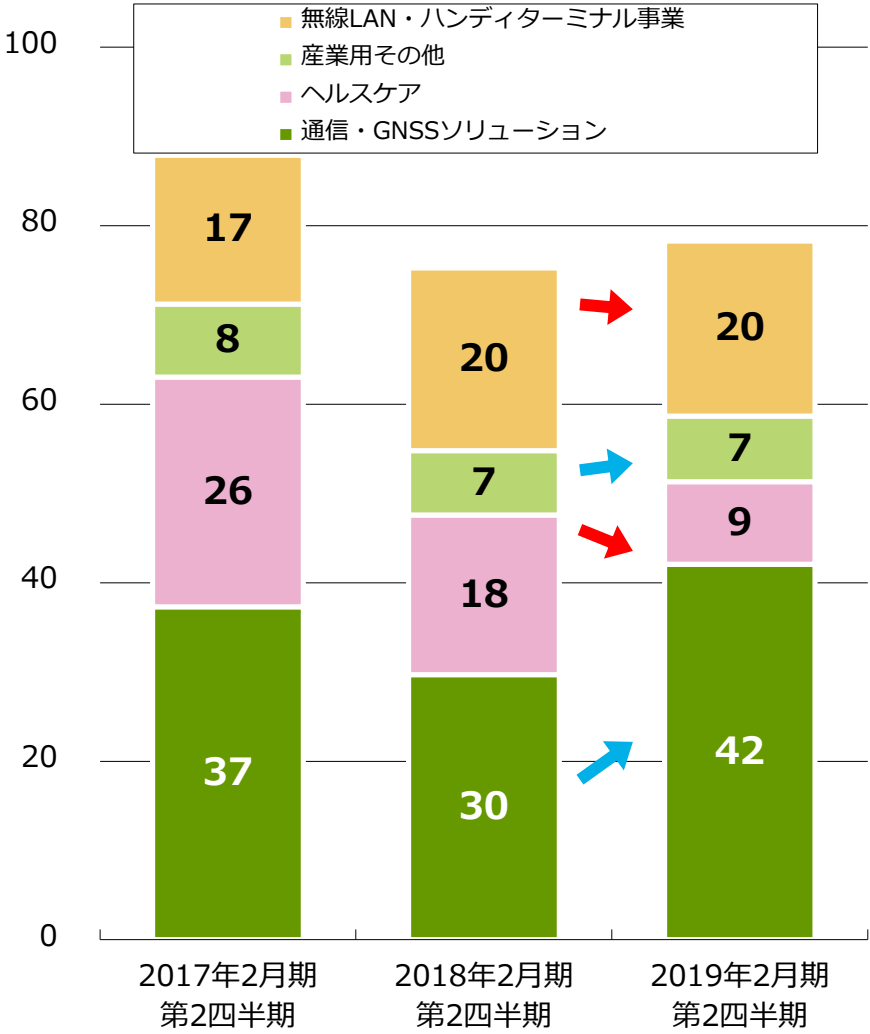
➢ 商船向け、漁業向け増収、為替がプラス方向に影響

◆アジア：売上高 **86**億円 (**+2.9%**)

➢ 商船向け増収

**産業用事業、無線LAN・アクセスポイント事業
連結売上高（累計・製品群別）**

(単位：億円)



産業用事業：

売上高 **58**億円（前年同期比 **+7.1%**）

セグメント利益 4.0億円（**+2.3**億円）

⇒ **ヘルスケア事業減収も通信・GNSSソリューション事業増収。**

売上増に加え、製品構成変化等により増益。

◆通信・GNSSソリューション事業：

売上高 **42.0**億円（**+41.5%**）

➤ 受託事業等の売上が増加

◆ヘルスケア事業：売上高 **9.2**億円（**▲48.1%**）

➤ 生化学自動分析装置の売上が減少

無線LAN・ハンディターミナル事業：

売上高 **19.5**億円（前年同期比 **▲4.3%**）

セグメント利益 3.9億円（**▲1.0**億円）

⇒ **無線LANの売上横ばい**

ハンディターミナルの売上減少。

前回予想 (2018年7月12日発表) 今回予想 (2018年10月12日発表)

(単位：百万円)	2018年2月期 実績	2019年2月期 予想	2019年2月期 予想	増減比 (額)	増減比 (率)
売上高	79,050	82,000	82,000	±0	±0.0%
営業利益	1,992	4,000	5,000	+1,000	+25.0%
(対売上高比率)	(2.5%)	(4.9%)	(6.1%)	(+1.2)	
経常利益	1,857	4,000	5,000	+1,000	+25.0%
(対売上高比率)	(2.3%)	(4.9%)	(6.1%)	(+1.2)	
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,236	3,000	4,000	+1,000	+33.3%
(対売上高比率)	(1.6%)	(3.7%)	(4.9%)	(+1.2)	

上期実績を受け、利益額を上方修正

配当予想の修正の内容

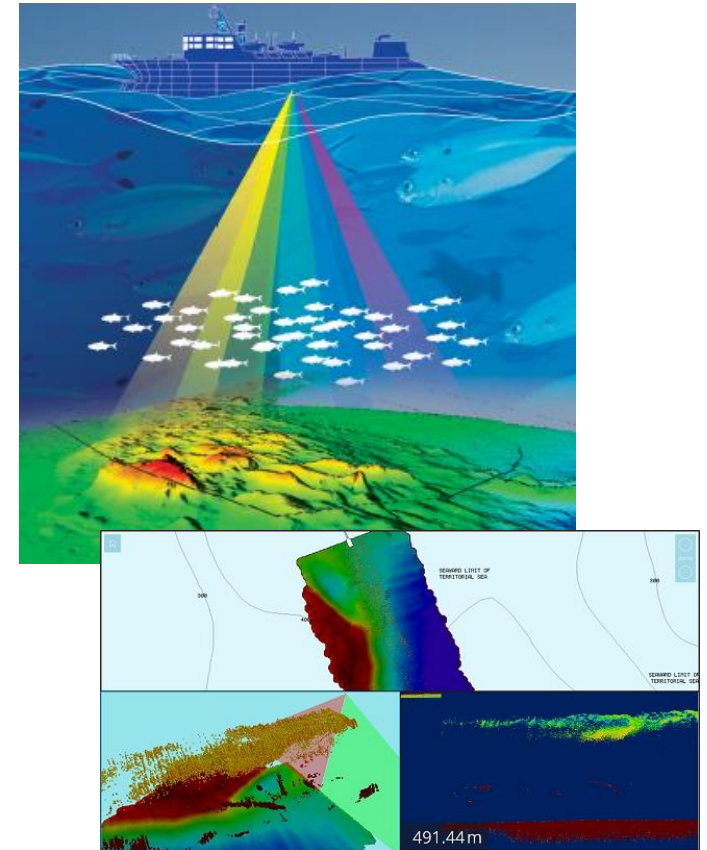
	1株当たり配当金		
	第2四半期	期末	合計
前回予想	5円00銭	5円00銭	10円00銭
今回修正予想		7円00銭	17円00銭
当期実績	10円00銭 (普通配当5円00銭) (記念配当5円00銭)		
前期実績 (2018年2月期)	4円00銭	6円00銭	10円00銭

トピックス

ニュージーランド・ENL社の経営権を取得

2018年7月、ニュージーランドの販売代理店 Electronic Navigation Ltd (以下、ENL社)への出資比率を51%に引き上げ、経営権を取得しました。

今後、ニュージーランド地域での機器販売・サービス拡大に加え、同社が保有するマルチビームスキャン技術 (WASSP※) を獲得した上で、同社が得意とするソフトウェア企画・設計能力を活用した新商品・システムの開発などを本格的に推進するほか、当社グループのグローバルな販売・サービスネットワークを活用して、WASSPマルチビームソナー各種商品の拡販に努めていきます。



◆ WASSP F3の映像表示例

※ WASSP (ワースプ) : 海中や海底の映像を高精度で表示する広角度の魚探で、マルチビームとコンピュータを組み合わせることで、漁場環境の情報を表示することができます。左舷・右舷方向120°という広範囲で探査することにより、魚礁、漂流物、魚群、海底地形と底質の反射強度など、海中の環境を素早く、より正確に把握することが可能で、底引き網漁から旋網漁、延縄漁業、さまざまな漁法の効率向上に寄与します。

IoTインテグレーション事業を展開するエコモットと協業

エコモット株式会社と協業し、当社のGNSS自動変位計測システム「DANA」（型式：MG-87）を活用して、防災分野を中心とした土木構造物や人工構造物の施工管理・維持管理に関するクラウドソリューションを提供することになりました。

エコモットは、2007年の創業以来、あらゆるモノをインターネットにつなぐIoT専門のソリューションベンダーとして急成長を遂げている企業です。近年、構造物の施工管理や維持管理においてICT機器が積極的に活用されつつあり、複数のセンサーと接続・データを集約するシステムとして利用したいとの要望が増え、IoTインテグレーションに強みを持つエコモットと協業することにしました。



◆DANA観測イメージ



◆DANA外観（左：GNSSセンサー、右：ソーラー電源）

業界初! 4カ国語切替機能付きETC車載器を12月中旬に発売

2018年12月に、業界初となる4ヶ国語切替機能付きのETC車載器「型式：FNK-M11TR」を発売します。

今回新たに発売するETC車載器「型式：FNK-M11TR」は、日本語だけでなく、英語、中国語、韓国語で、ETCカードの認証やETCレーンの通行可否を音声案内する機能を備えました。また、ETCカードの挿入方向が一目で分かるよう、ETC車載器本体に大きなイラストを記載したほか、従来商品同様に、業界最長のメーカー3年保証を付保しました。

これらにより、訪日外国人の利用が急増しているレンタカーやリース車両での、安全安心な高速道路通行をサポートします。



◆ 「型式：FNK-M11TR）本体の外観イメージ

2018年度NMEA（全米船用電子機器協会）19部門中5部門受賞

2018年度のNMEA（全米船用電子機器協会）最優秀メーカー賞を全19部門中5部門受賞しました。

当社は、1971年度にNMEA最優秀メーカー賞「魚群探知機部門」を受賞以来、48年連続で表彰されています。今回受賞したのは、「レーダー部門」「NMEA2000センサー部門」「魚群探知機部門」「AIS部門」「商船機器部門」を受賞。また当社のパートナー企業であるMaxSea / Nobeltec 社が開発した、TimeZero Professional（タイムゼロ プロフェッショナル）およびTimeZero iBoat App（タイムゼロ アイボート アプリ）が、ソフトウェア部門とナビゲーションアプリ部門に選ばれました。

NMEA賞は、全米各地の製品ディーラーや業界専門家などが、デザイン・性能・信頼性の優れた製品の投票によって行われるもので、この賞を受賞することは、米国内だけでなく、世界中の船舶用電子機器ユーザーから認められ、信頼を得ることにつながります。



「子ども参観日」を実施

8月23日、古野電気に勤務する社員のご家族で、小学生を対象に「子ども参観日」を実施しました。

「子ども参観日」では、親の職場を訪れ、普段見ることができないお父さん・お母さんの働く姿を見せたり、仕事の内容を聞くことで、親の仕事への理解を深めていただくことを目的としています。

当日は、お子さんと保護者の方々が社員と一緒に職場を見学するほか、INSシミュレータ展示室の実演見学や、牛乳パックで船を工作するなど、さまざまな体験を楽しんでいただき、親子のコミュニケーションを深めていただきました。



◆子供参観日での様子

補足. フルノグループの事業概要

古野電気は1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2018年2月28日現在



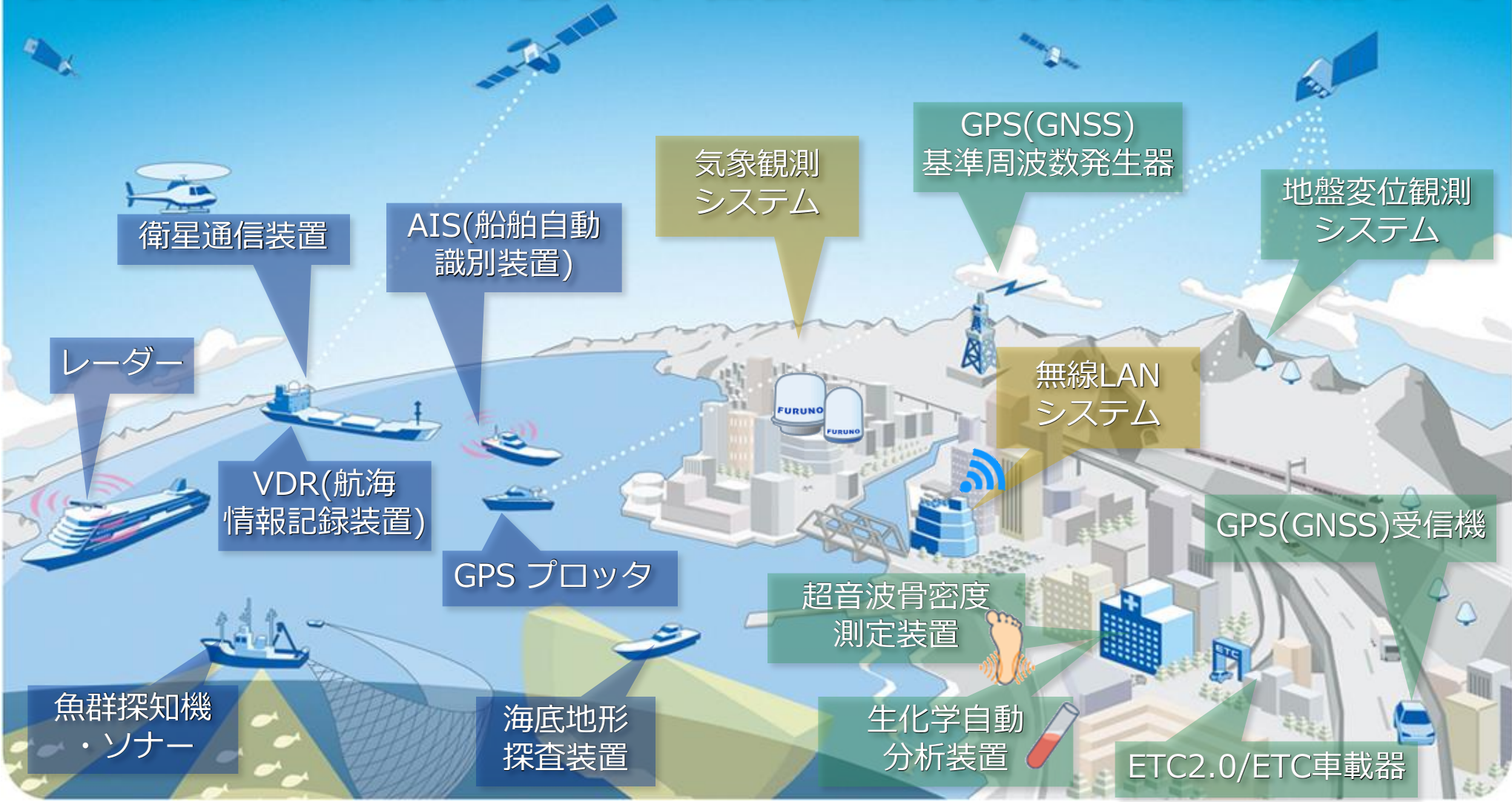
社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年 (昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード：6814)

I R情報サイト⇒ <http://www.furuno.co.jp/ir/>

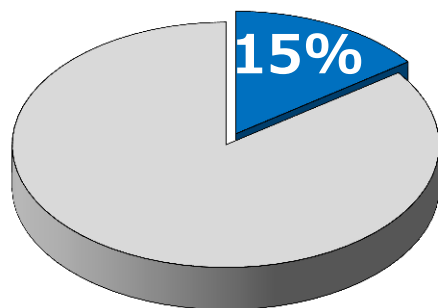
製品情報サイト⇒ <http://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト⇒ <http://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心、環境に優しい社会・航海の実現を目指して

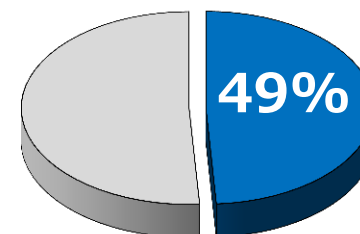


商船向け



市場規模 1,900億円

漁業向け



市場規模 500億円

総合船用電子機器メーカーとして、世界シェアトップ

(世界市場4,200億円のうち、シェア15%占める)

※ 市場規模は2017年の各社売上データに基づく当社推定による試算値